

さかわ

「学校だより」第11号
令和4年 3月 1日
小田原市立酒匂中学校
校長 高松 宗
小田原市酒匂3-4-1

卒業期を迎えて

3年生は、卒業期に入り最後の中学校生活を満喫しています。

卒業式を3月9日に控え、式練習や講演会、スポーツ大会、お別れ遠足など、毎日、充実したスケジュールを送っています。

「立つ鳥跡を濁さず」このことわざを生徒が学校を卒業するときによく使います。

～立ち去る者は、見苦しくないようきれいに始末をしていくべきという戒めの意味であったり、また、引き際は美しくあるべきだという意味だそうです～

今年は139名の卒業生が酒匂中学校を巣立っていきます。3年間、決して順風満帆とはいえませんでした。1年生の3月から3ヶ月間突然臨時休校となり、コロナ禍という新しい生活様式となり、いろいろと窮屈な思い、行事にしても規制により縮小されたものを経験してきました。その中でも、運動会、松風祭合唱コンクールにおいて、3年生としてブロックの中心となって、1、2年生に教えたり、アドバイスを与えたり、手本となったり、今何ができるだろうかをしっかりと考えて活動していた3年生を誇りに思います。

オリンピック講演会

小田原市が主催する著名なアスリートの経験に基づく講話やデモンストレーションにより、運動・スポーツへの興味関心を高め、見聞を広めるという目的で、3年生対象に講演会が行われました。講師は、2012年



ロンドンオリンピックで体操団体銀メダル、個人6位 平行棒4位だった田中禾仁さんが来てくださいました。①ベストを尽くして諦めずに頑張る ②仲間を大切にする③感謝の心を持つ という3つのキーワードを基にお話しをいただきました。また、デモンストレーションとして、体操とは身体を操る(あやつる)ことができるようになるということで、肘の関節の動き、右手左手を違う動きをして、サッと入れ替える、倒立、前転、後転などを見せてくれました。

最後に、3年生全員に銀メダルを触らせてもらいました。もった瞬間に生徒の口からは思わず「重っ」という言葉が出ていました。私も持たせていただきましたが、思ったよりもずっしりと重く、思わず「重っ」と言ってしまいました。

令和3年度の卒業式

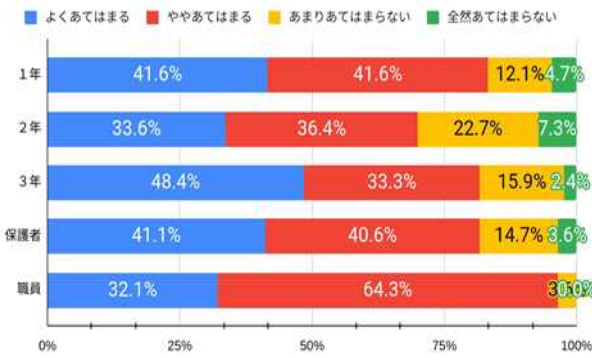
令和4年3月9日(水)に酒匂中学校体育館にて行います。来賓の方を極力少なくし、感染対策をとりながら行う予定です。多くの方に参加していただきたいところですが、スペースの都合で、卒業生・教職員・来賓・保護者(卒業生1人につき各1人)で行いたいと思います。ご理解・ご協力をお願いします。

令和3年度 学校評価の結果より

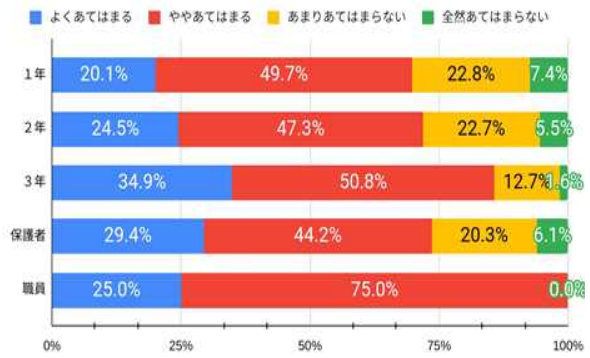
保護者の皆様には、12月実施の「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。今年度から、2次元コードを読んでいただき、スマホにて回答いただいた後、送信していただく形をとらせていただきました。

今後、今回の評価結果やアンケートにご記載いただいたご意見・ご要望もふまえ、成果や問題点を次年度に向けて教育内容のさらなる改善に役立て、取り組んでいきたいと考えます。裏面に一部の結果をのせますので、ご覧ください。

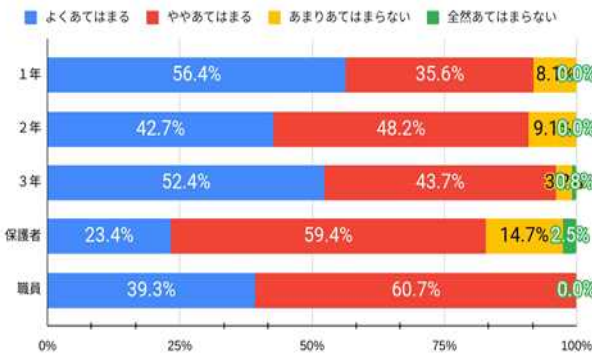
2 わたしは学校へ行くのが楽しみである。



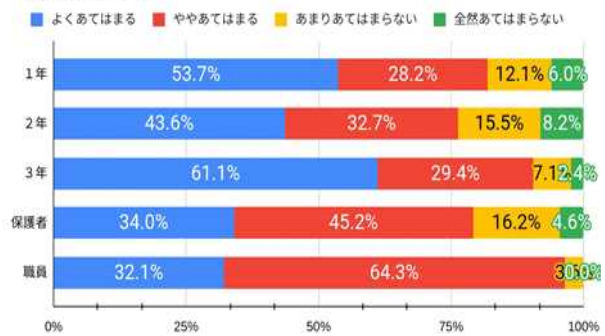
3 わたしは自分から進んで学習に取り組もうとしている。



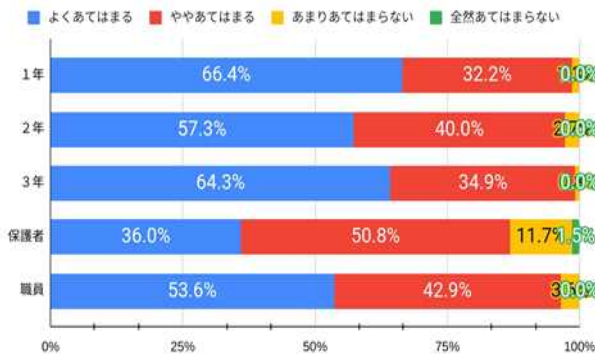
4 先生は教え方を工夫し、わかりやすい授業をしている。



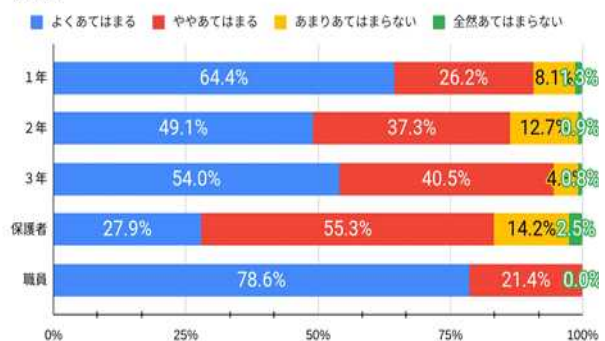
5 わたしは教科外活動（部活動など）に満足して活動している（活動できた）。



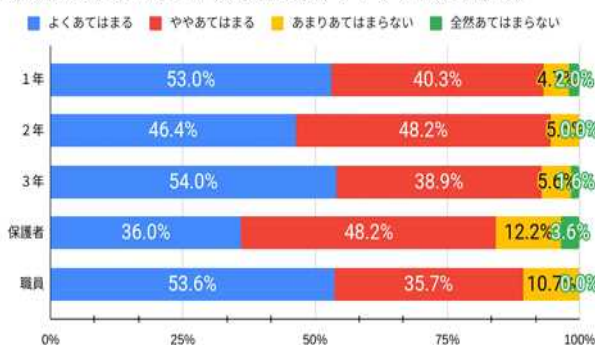
6 先生はわたしの話をよく聞いてくれる。



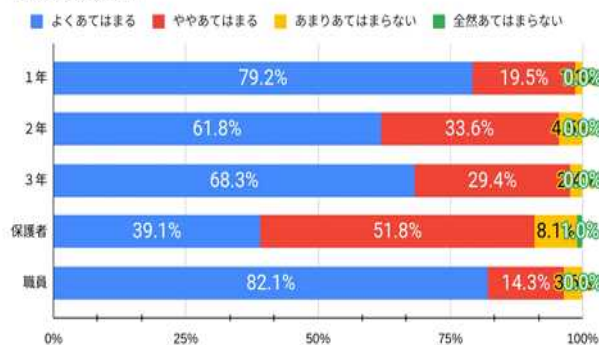
8 先生や学校はいじめや生徒間のトラブルにきちんと対応している。



9 学校は、学校の様子や教育方針を通信、HP、電話連絡、家庭訪問などで私たちや保護者にわかりやすく伝えている。



10 先生はわたしたちに、いけないことはいけないと、きちんと指導している。



白黒印刷だと、判別しにくいですが、左側2つの数字が肯定的回答、右2つが否定的回答である。どの質問に対しても肯定が7割を超えていると言える。しかし、3割弱が学校に行くのが楽しみではなかったり、自分から進んで学習に取り組んでいないということもわかっている。従って、学習面については、学校では落ち着いた授業態度が見られているが、家庭学習を含めて自分から取り組んでいるかというところが課題だと思われる。